



マークがあるイベントは成田市公式YouTubeチャンネルで動画が見られます。右のQRコードからアクセスして、当日の様子をお楽しみください。



サンブルーノ市中学生友好訪問団 7/4～9



同世代との交流を深める

姉妹都市である米国・サンブルーノ市から、10人の中学生と4人の随行員で構成された友好訪問団が本市を訪れました。滞在期間中は市内の施設見学や成田祇園祭での山車の曳き廻しを通して日本文化に触れたほか、吾妻中学校

や成田高校附属中学校では日本の学校生活を体験し、交流を深めました。また、今年3月にサンブルーノ市を訪れた本市中学生の家庭がホームステイ先となり、再会を喜ぶ姿も見られました。



1



2



3

- 1 吾妻中学校で給食を味わう
- 2 再会を喜ぶ
- 3 力を合わせて山車を曳く



救助現場へ一目散に

消防救助技術訓練市長査閲 7/9



鍛錬の成果を披露

日頃の訓練の成果を披露する「消防救助技術訓練市長査閲」が赤坂消防署公津分署で行われました。披露されたのは5月に行われた県大会で好成績を収めた引揚救助・障害突破・ほふく救出の3種目。隊員たちはロープなどを巧みに操り、高い所や狭い空間での安全で迅速な救助を披露しました。訓練後には小泉市長から激励の言葉があり、隊員たちは関東・全国大会に向けて気を引き締めていました。

暮らしを彩る器づくり 6/26



自分好みの作品を

陶芸を楽しんでもらおうと「暮らしを彩る器づくり」が三里塚コミュニティセンターで行われました。全4回のうち2回目のこの日は、素焼きをする前の工程に挑戦。使いやすい器にするため、作品の厚さを削って軽くし、くしやへらを使って模様を入れました。講師に教わりながら、均一に薄くなるように丁寧に作業を進めると、湯飲みや平皿など、さまざまな作品の姿が整えられていきました。



会話も楽しみながら



成田市LINE



成田市広報課Facebook

成田市広報課Instagram
#なりたさんぽ

成田祇園祭 7/5~7



受け継がれていく夏の伝統行事

成田の夏の一大行事「成田祇園祭」が成田山新勝寺や表参道を中心に開催されました。新勝寺大本堂前に10台の山車・屋台が集結して行われた安全祈願で開幕。JR成田駅前での圧巻の総踊りや、仲町の坂を次々に駆け上がる迫力

あふれる総引きなど、今年も見どころ満載の祭りとなりました。3日間とも最高気温が30度を超える暑さにもかかわらず、大勢の見物客が押し寄せ、まちは祭りの活気に包まれました。



- 1 JR成田駅前での総踊り
- 2 各町の若者頭による鏡開き
- 3 表参道を勇壮に

成田祇園祭特別講演会 7/6



祭りの歴史に思いをはせる

約300年の歴史を持つ成田祇園祭をより楽しんでもらおうと「成田祇園祭特別講演会」が、なごみの米屋 スカイトウンホールで開催されました。講師は、幼い頃から祭りに親しんでいる関根副市長。成田祇園祭の起源や変遷について、自身の経験を交えながら語りました。各町の山車の特徴なども解説され、参加者は興味深そうに聴き入っていました。



自身の思い出も交えて解説



冥福を祈って花を手向ける

戦没者追悼献花式 6/28



平和への誓いを込めて

戦没者への追悼と恒久平和への誓いを込め「戦没者追悼献花式」が市役所1階ロビーで行われました。式典では、小泉市長が「戦争の悲惨さ、平和の尊さを、次の世代に継承する責務を果たし、市民の皆様と平和で豊かな成田の実現にまい進することを誓います」と追悼の言葉を述べ、参列者全員で黙とうをささげました。その後、献花が行われ戦没者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。